

## うちエコ診断

～ まずは 体験！ 次は 広めましょう ～



診断は無料です。

### うちエコ診断とは

うちエコ診断員が、専用のパソコンソフトを使い家庭の二酸化炭素の排出状況を診断し、診断家庭の二酸化炭素を削減するにはどうしたらいいか助言や提案を行います。

うちエコ診断を受けることで、家庭のどこからどのくらい二酸化炭素がでているか、それを減らすためには家族がどう協力したらいいか、家族全員で考えていただく良い機会となります。

ご家庭への訪問診断、当センターの会議室での窓口診断の他、企業や団体などで用意していただいた会場への訪問診断も可能です。まずは推進員さんのご家庭の診断を提案します。

## うちエコ診断イメージ図

たとえば

### 1 専用ソフトを使って診断します

自家用車と給湯で二酸化炭素の排出量の7割を占めている家庭では、こまめに蛍光灯を消しても大きな効果は得られません。こうした場合に効果的なのは、公共交通機関や自転車利用の促進、高効率給湯器、節水シャワーの導入などです。そんな、効果的な分析と提案を行います。

### 2 アンケートにお答えいただき基礎情報を入力します

アンケートにお答えいただけます。アンケート内容は10項目に分かれています。

### 3 平均的な家庭と比べます

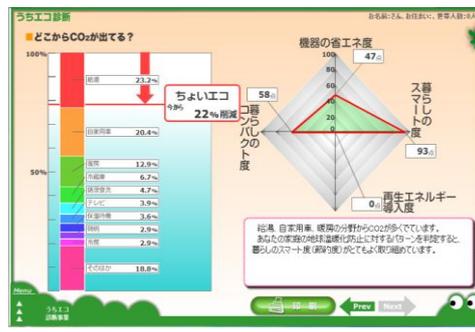
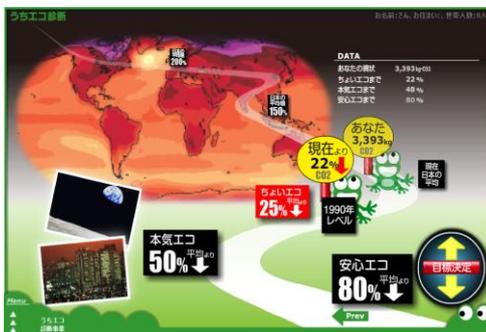
世帯人数別の平均的世帯との比較ができます。

### 4 目標を決定します

ご家族で削減目標を設定します。

### 5 排出量内訳がわかります

どこからCO<sub>2</sub>が出てる？機器・暮らし方の省エネ評価もできます。



### 6 効果的な方法を選びます

分野ごとに効果的な対策が計算され、選択するとすぐに削減量が表示されます。さらに、対策を複数選択して、その組合せによるCO<sub>2</sub>削減効果が表示されます。

太陽光発電設備やエコキュートなどを導入して、元が取れるかどうかの試算、ローンシミュレーションなどもできます。

センターホームページ (<http://www.gccca.jp>) から希望票、事前アンケートがダウンロードできます。

今すぐ  
クリック



気象庁では毎年、世界と日本の気候変動および温室効果ガスとオゾン層等の状況についてまとめたレポートを発表しています。その最新版は「気候変動監視レポート2009」として平成22年6月に公表されました。その一部をご紹介します。

このレポートは「2009年の主な監視結果」「トピックス」が冒頭で紹介され、第1部「気候」、第2部「海洋」、第3部「環境」の3部構成でできています。このレポートの全文は気象庁のホームページから入手することができます。

気象庁気候変動監視レポートはこちらのホームページから <http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/monitor/> 皆様もご一読してみてはいかがでしょうか？

## トピックス 平成21年夏の日本の不順な天候

平成21年（2009年）7月から8月上旬にかけて、日本付近は沖縄・奄美を除き、曇りや雨の日が多く、日照時間の少ない不順な天候となった。天候の状況は、全国的に曇りや雨の日が平年と比べても多くなり7月の日照時間は北日本から西日本にかけての日本海側で記録的に少なくなった。7月の降水量については、北日本では記録的に多く、7月には「中国・九州北部豪雨」が発生し、日本海側の地方を中心に梅雨明けが記録的に遅くなり、東北、北陸、中国の各地では梅雨明けが特定できなかつた。気温も、7月下旬に日本海側を中心に平年より低くなり、北日本と東日本の日本海側ではその後も平年をほとんど上回ることがないまま、夏が終わった。要因として、エルニーニョ現象や偏西風の位置の変化によるものとの考察を示している。

## 2009年の主な監視結果

### 第1部【気候】

**世界の気候：**世界の年平均気温の平年差は+0.31℃で1891年の統計開始以降、3番目に高い値となった。長期的には100年あたり0.68℃（統計期間1891~2009年）の割合で上昇している。

**日本の気候：**日本の年平均気温の平年差は+0.56℃で、1898年の統計開始以来、7番目に高い値となった。長期的な傾向として、100年あたりおよそ1.13℃（統計期間1898~2009年）の割合で上昇している。

### 第2部【海洋】

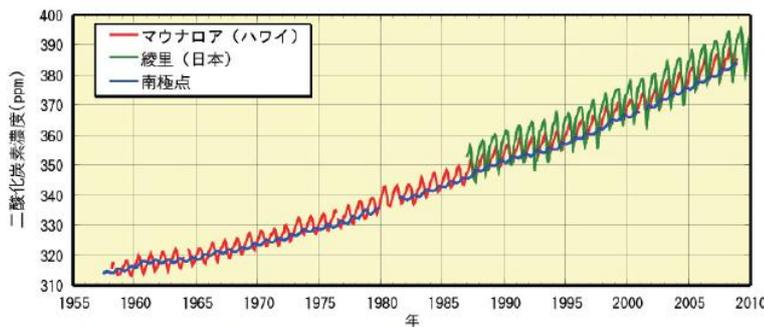
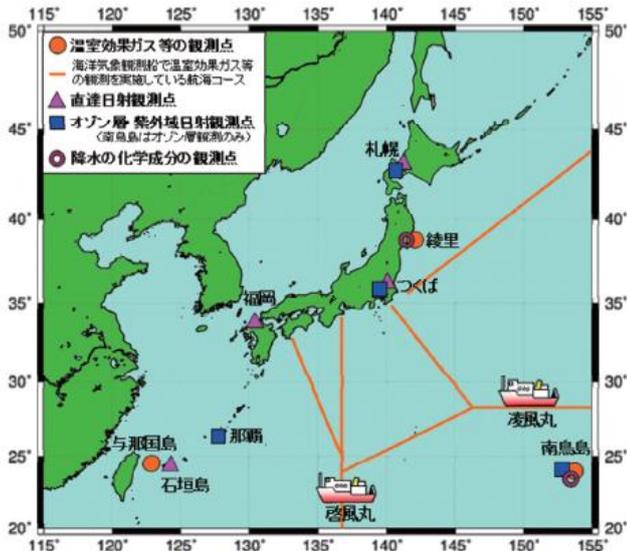
**世界の海洋：**世界の年平均海面水温平年差は、+0.23℃で、1891年以降では2番目に高い値となった。長期的には100年あたり0.50℃（統計期間1891~2009年）の割合で上昇している。2009年夏以降、エルニーニョ現象が発生した。北極域の海氷域面積の最小値は2007年2008年について3番目に小さい記録となった。

**北西太平洋、日本近海：**日本近海の年平均海面水温は、長期的には100年あたり0.7~1.7℃（統計期間1900~2009年）の割合で上昇した。

### 第3部【環境】

世界の大気中の二酸化炭素濃度は増加を続けており、2008年の世界平均濃度は前年より2.0ppm増加して385.2ppmであった。産業革命以前の平均的な値とされる280ppmと比べて38%増加している。

2009年の国内の二酸化炭素平均濃度は、綾里で389.7ppm、南鳥島で388.0ppm、与那国島では389.4ppmで、それぞれ前年に比べ1.2ppm、1.4ppm、1.4ppm増加し、いずれも観測開始以来最高となった。



2008年までの大気中の二酸化炭素濃度の経年変化

出典：気象庁「気候変動監視レポート2009」より

## 群馬県地球温暖化対策実行計画（仮称）骨子に関する意見募集について

県では、地球温暖化対策のさらなる強化に向けた計画を策定することとし、検討を進めて参りましたが、このたび、その骨子を取りまとめ、以下の要領で県民の皆様からご意見を募集しております。推進員の皆様におかれましても骨子の内容をご覧の上、ご意見をいただきますようお願いいたします。

### ◇計画骨子の概要

#### 1 主な内容

- (1) 計画期間：2011年度（平成23年度）～2020年度（平成32年度）、10か年計画
- (2) 対象とする温室効果ガス：二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等
- (3) 温室効果ガスの削減目標

- ・県全体：2020年度(H32)に2007年度(H19)比で28%削減  
(排出削減分22%+森林吸収分6%)
- ・県庁の事務事業：2020年度(H32)に2007年度(H19)比で26%削減  
(県全体の計画における業務部門の目標値)

#### 2 計画の制定時期 平成23年3月末を予定

#### 3 資料入手方法

計画骨子の全文は、下記の窓口で配付しています

- ・県庁環境森林部環境政策課（16階）、県庁県民センター（2階）、各行政事務所及び各行政県税事務所、各環境事務所、各環境森林事務所及び各森林事務所

※県ホームページからも資料をダウンロードできます

[http://www.pref.gunma.jp/cts/contents?CONTENTS\\_ID=100651](http://www.pref.gunma.jp/cts/contents?CONTENTS_ID=100651)

（トップページ → 県政一般 → パブリックコメントなど → 県民意見提出制度（パブリック・コメント） → 平成22年度 県民意見提出制度募集状況 → 群馬県地球温暖化対策実行計画（仮称）骨子に関する意見募集について）

#### 4 結果の公表予定日 平成23年1月下旬頃

### ◇意見募集要領

#### 1 募集期間

平成22年12月14日(火)～平成23年1月12日(水)（必着。ただし郵送の場合は当日消印有効）

#### 2 意見提出対象者

県内に在住、在勤又は在学する個人、県内に事務所又は事業所を有する法人や団体等

#### 3 提出方法

- ・郵便、ファクシミリ、電子メールのいずれかの方法によりご提出ください。
- ・A4サイズであれば提出様式は自由ですが、原則として、氏名及び住所（法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び所在地）並びに連絡先（電話番号又は電子メールアドレス）を記載してください。
- ・電話等による口頭での意見提出は、お受けできません。

#### 4 留意事項

- ・ご記入いただいた氏名（法人名等）、住所（所在地）、電話番号、メールアドレスは、提出意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認のために利用し、その他の目的には使用しません。
- ・ご意見に対する個別の回答はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

#### 5 提出先・問い合わせ先

群馬県環境森林部 環境政策課 温暖化対策室 地球温暖化対策係  
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1  
TEL 027-226-2817（直通）  
FAX 027-243-7702  
電子メールアドレス ondanka@pref.gunma.jp

# 群馬県地球温暖化防止活動推進センターより

群馬県委託事業

群馬県地球温暖化防止活動推進員研修について



平成 23 年 1 月より推進員研修を県内 5 地区で行います。

1 月 24 日（月）中之条町ツインプラザ 大会議室 13：30～

テーマ：「気象の変化に敏感な自然」～自然案内人より情報発信…伝えるということ…～

講師：剣持雅信氏 ぐんま山森自然楽校代表

1 月 31 日（月）ニューサンピア 妙義の間 13：30～

テーマ：地球温暖化懐疑論についてこう考える

講師：伊佐良次氏 高崎経済大学准教授

2 月 18 日（金）東毛産業技術センター 第 1 研修室 13：30～

テーマ：地域に根ざした地球温暖化防止の取組事例（仮称）

講師：宝田恭之氏 群馬大学工学部教授

その他、前橋、沼田で開催予定です。

\* 推進員の皆様はどこの会場にご参加いただいても結構です。また複数回参加しても結構ですので積極的なご参加をお願いします。別途、郵送にてご案内をさせていただきます。\*

## ストップ温暖化大賞 低炭素杯 ～低炭素地域づくり全国フォーラム～

全国各地の学校・家庭・有志・NPO・企業のみなさんが展開している地球温暖化防止活動の輪をあげ、低炭素な社会を構築するために「低炭素杯」が生まれました。

平成 19 年から 3 年間の環境省事業として行った一村一品知恵の環づくり事業を第 1 ステージとするなら、今回は第 2 ステージとして、低炭素杯を行います。今年度は企業等の支援を受け全国地球温暖化防止活動推進センターの主催で開催することになりました。

群馬県からは「粕川フラワーロードの会」を群馬県地球温暖化防止活動推進センターより推薦しました。粕川フラワーロードの会の活動の始まりは、地域河川の土手へ花を植栽しゴミの不法投棄防止の活動からでしたが、今はその活動にリユース食器の貸し出しが加わりました。

イベント会場でゴミを出したくないという強い思いは、平成 19 年からリユース食器の貸し出しを始めてつから現在まで、確実に広がりを見せ、今では多くのイベント会場でのリユース食器利用が増えています。粕川フラワーロードの会の活動が県内に広まり県内のイベント会場からゴミが無くなることを願い、センターより推薦しました。

来年 2 月 5 日・6 日東京大学安田講堂で開催される全国大会に向けてみなさんも応援よろしくをお願いします。

1 月初旬からは WEB 投票も開始しますのでこちらもよろしくをお願いします。

低炭素杯 URL : <http://teitansohai.jp/>

### 編集・発行

群馬県地球温暖化防止活動推進センター

〒371-0016 前橋市城東町 2-3-8

TEL : 027-237-1103 FAX : 027-232-1104

MAIL : info@gccca.jp

群馬県環境政策課

〒371-8570 前橋市大手町 1-1-1

TEL : 027-226-2817 FAX : 027-243-7702

MAIL : kanseisaku@pref.gunma.jp

